

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 5月 / 2 日

鹿児島県知事 三反園 訓 殿

提出者

住 所 鹿児島市鴨池新町15番地

氏 名 鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社

代表取締役社長 中馬 公弘

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 099-258-5640

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社 川内食品工場
事業場の所在地	薩摩川内市勝目町字上久保田3888番地
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：その他の畜産食料品製造業
② 事業の規模	資本金 9千万円
③ 従業員数	295名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	（別添 1） 産業廃棄物処理工程

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(別添 2) 産業廃棄物管理組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 「内訳表」	
	排出量	別添 「内訳表」	t
	(これまでに実施した取組) ・ 汚泥は洗浄機のノズル改善により排水量が減少し削減を実施 ・ 廃プラスチック類は生産工程での発生を抑制 ・ 金属くずは工事等に発生した物を使用可能品の再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 「内訳表」	
	排出量	別添 「内訳表」	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 汚泥は工場設備の改善により排出量を減らし削減に取り組む ・ 廃プラスチック類は生産工程での使用量の見直し		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類によってそれぞれ容器を設置し、内容が分かるように表示している
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全従業員に廃棄物の種類を教育し、分別の周知徹底を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 「内訳表」	t
	全処理委託量	別添 「内訳表」	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添 「内訳表」	t
	再生利用業者への処理委託量	別添 「内訳表」	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添 「内訳表」	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添 「内訳表」	t
	(これまでに実施した取組) 全て最終処分業者へ委託している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 「内訳表」	t
	全処理委託量	別添 「内訳表」	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 「内訳表」	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添 「内訳表」	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添 「内訳表」	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添 「内訳表」	t
	(今後実施する予定の取組) ・全て最終処分業者へ委託している ・優良認定処理業者への委託を検討する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 内訳書 (廃棄物の種類が3つ以上ある場合この表を使用してください。)

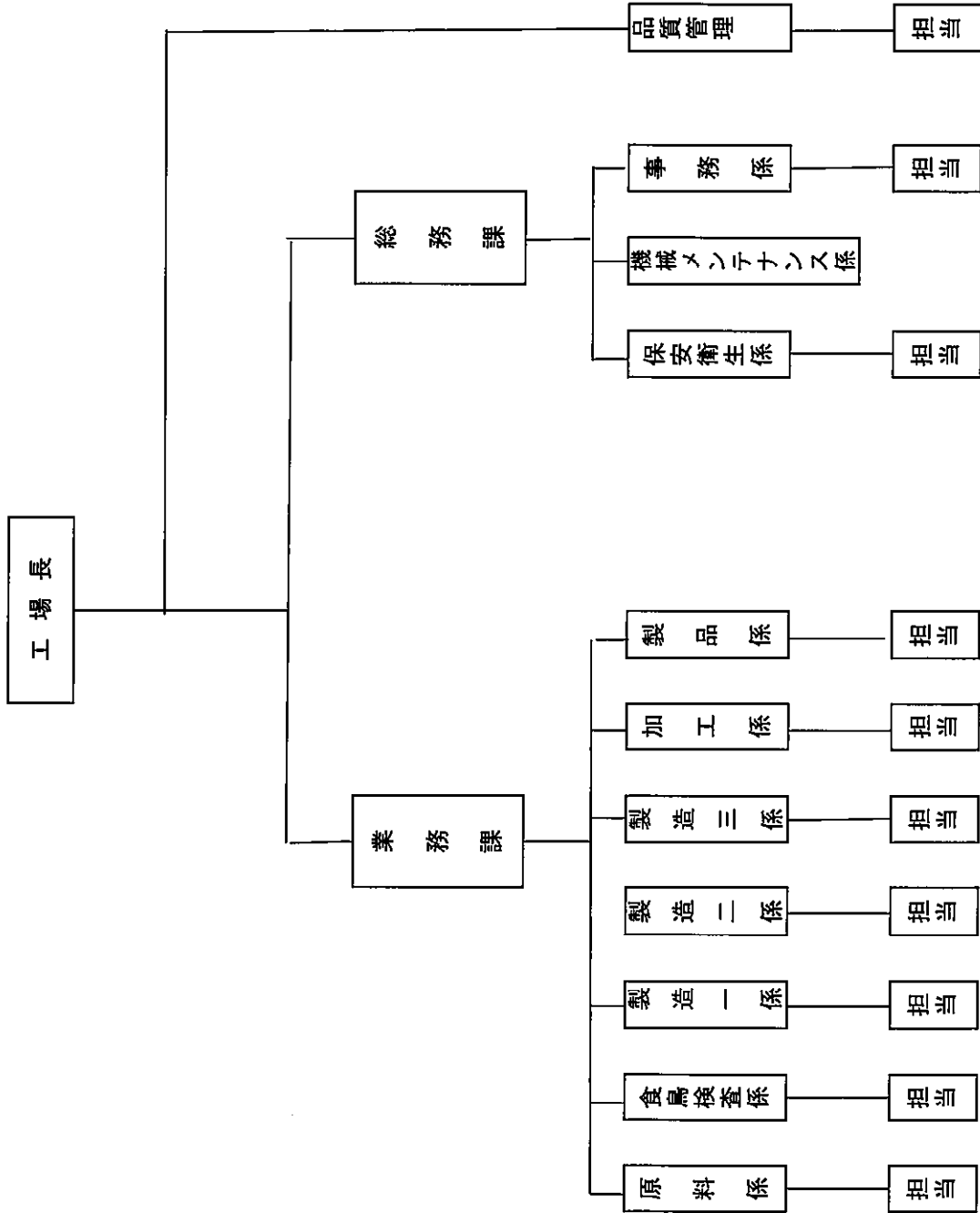
別添内訳書

数字(t)

廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	ガラス及び陶磁器くず	感染性廃棄物	廃油	紙くず	建設木くず	繊維くず	鉄くず	がれき類	合計
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
①現状(元年度実績)	2,027	28	0.5	0.42	1.6	1.6	0.70	0.06	15	0	2,075
②計画(2年度計画)	2,025	27	0.3	0.39	1.4	1.5	0.6	0	14	0	2,070
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状(元年度実績)	0	0	0	0	0						0
②計画(2年度計画)	0	0	0	0	0						0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状(元年度実績)	0	0	0	0	0	0					0
	0	0	0	0	0	0					0
②計画(2年度計画)	0	0	0	0	0	0					0
	0	0	0	0	0	0					0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分											
①現状(元年度実績)	0	0	0	0	0	0					0
②計画(2年度計画)	0	0	0	0	0	0					0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状(元年度状況)	2,027	28	0.5	0.42	1.6	2	1	0	15	0	2,075
	0	0	0	0	0	0					0
	2,027	28	1	0.42	2	2	1	0	15	0	2,075
	0	0	0	0	0	0					0
	0	0	0	0	0	0					0
②計画(2年度計画)	2,025	27	0	0.39	1	2	1	0	14	0	2,070
	0	0	0	0	0	0					0
	2,025	27	0	0.39	1	2	1	0	14	0	2,070
	0	0	0	0	0	0					0
	0	0	0	0	0	0					0

(別添 2)

鹿児島くみあいチキンフーズ(株)川内食品工場
産業廃棄物管理組織図



(別添 1) 産業廃棄物処理工程

